

# India Weekly

2021年2月22日

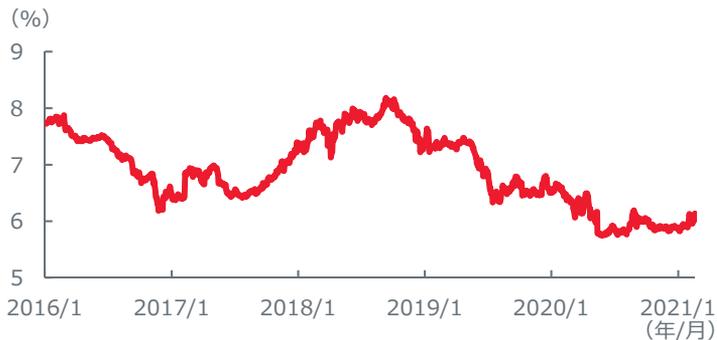
eastspring  
investments

(対象期間：2021/2/15～2021/2/19)

## 【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2021年2月19日)



## 【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年2月18日)



## 【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年2月19日)



出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

210222 (02)

## 【株式市場】

週初、米国の景気刺激策の早期実現と新型コロナウイルスワクチンの普及による世界経済の回復期待、インドで1月の消費者物価指数(CPI)が改善したことや、国内企業の四半期決算が好調となったことなどから、一時SENSEX指数は過去最高値を更新しました。その後は高値警戒感から利益確定売りが膨らみ、金融セクターを中心に下落しました。米国の週間新規失業保険申請件数が労働市場の悪化を示したことも投資家心理を圧迫し、SENSEX指数は週間で下落しました。

2021/2/12	2021/2/19	変化率
51,544.30	50,889.76	-1.27%

## 【債券市場】

週初に行われた国債入札では、財政支出の拡大による国債の大量発行が予想される中で需要は乏しく、約7割を引受金融機関が落札する事態となったことを受け、10年国債利回りは上昇(価格は下落)しました。また、週後半には原油相場の上昇によるインフレ懸念から、インド準備銀行(中央銀行、RBI)が次回の政策決定会合で利下げを見送るとの観測が広がったことで利回りはさらに上昇し、週間でも利回りは上昇しました。

2021/2/12	2021/2/18	変化幅
5.990	6.135	+0.145

※19日は祝日のため休場

## 【為替市場】

週初、SENSEX指数の最高値更新などを受け投資家のリスク志向が強まり、ルピーは対米ドルで上昇しましたが、RBIの為替介入と見られる米ドル買いから上げ幅を縮小しました。週後半は輸入業者と外国銀行の米ドル売りに加え、原油相場の上昇からインフレ懸念が台頭し、RBIが次回の政策決定会合で利下げを見送るとの観測が広がりルピー買いを促しました。しかし、インド株式市場が下落に転じたことから週間ではわずかにルピー安米ドル高となりました。一方、米ドル高円安の影響で、ルピーは対円で週間で上昇しました。

2021/2/12	2021/2/19	変化率
1.443	1.450	+0.47%